

リンゴ病害虫の発生状況（8月中下旬） 調査地点：中通り 22 園地、会津 12 園地

令和3年9月1日  
福島県病害虫防除所

(1) 斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並でした（図1）。

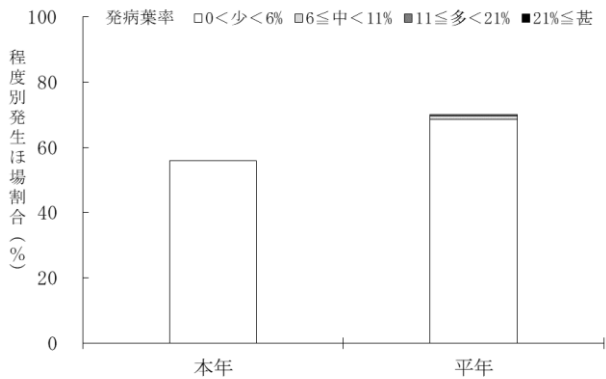


図1 新梢葉での発生状況

(2) 褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図2）。中晩生種で発生が多い場合は防除を徹底しましょう。また、8月3半旬のまとまった降雨により感染が助長された可能性があるため、今後の発生動向に注意しましょう。

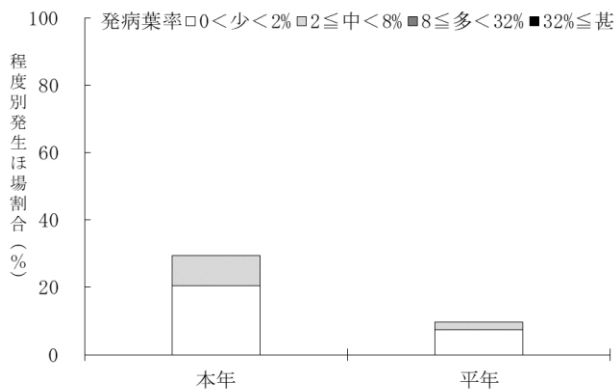


図2 新梢葉での発生状況

(3) 炭疽病

各地方ともに、果実での発生は確認されませんでした。8月3半旬のまとまった降雨により感染が助長された可能性があるため、今後の発生動向に注意しましょう。

(4) キンモンホソガ

新梢葉被害の発生ほ場割合は、中通りで平年よりやや高く、会津では平年並でした（図3）。フェロモントラップの誘殺数が中通りの1地点で8月3～4半旬に増加した園地が確認されましたので、今後の発生動向に注意しましょう。

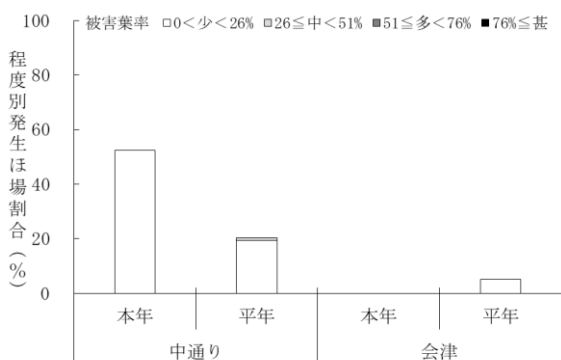


図3 新梢葉被害の発生状況

## (5) シンクイムシ類

広範囲に果実被害が確認され、発生ほ場割合は平年よりやや高い状況でした（図4、図5）。ナシヒメシンクイの果実被害は確認されませんでした。モモシンクイガ、スモモヒメシンクイの果実被害を確認しました。

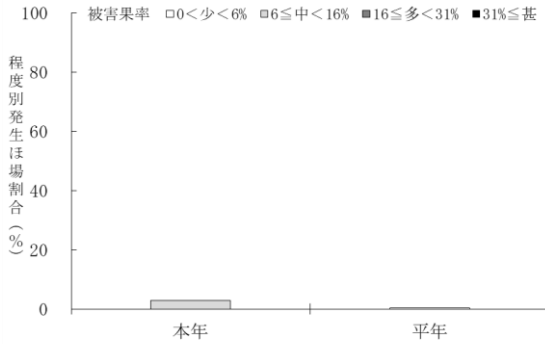


図4 モモシンクイガによる果実被害の発生状況

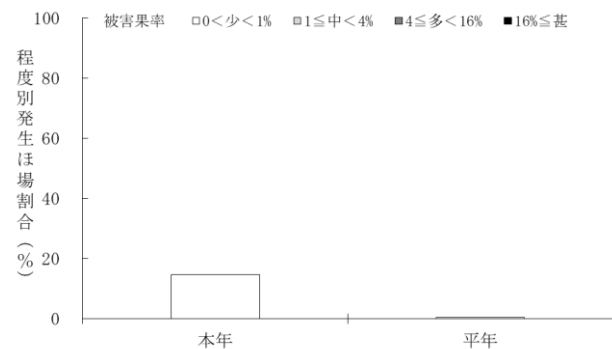


図5 スモモヒメシンクイによる果実被害の発生状況

## (6) ハマキムシ類

各地方ともに、果実被害は確認されませんでした。

## (7) ハダニ類

新梢葉寄生の発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図6）。園地での発生状況をよく観察し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

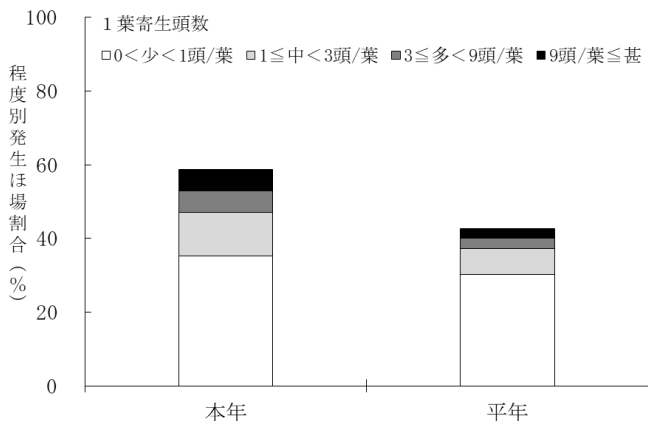


図6 新梢葉寄生の発生状況

## (8) 果樹カメムシ類

果実被害の発生ほ場割合は、平年並でした（図7）。園地での飛来状況をよく観察し、飛来を確認したら薬剤散布を実施しましょう。

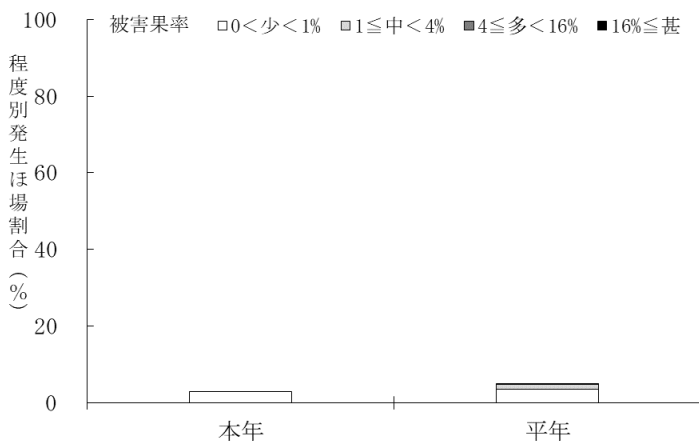


図7 果実被害の発生状況